

## 1 研究主題 「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図る教育の充実に向けて」

## 2 研究の具体

本県では、平成22年度より、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた連携の推進を図るために、県東部（東讃）と県西部（西讃）の小学校教諭各1名ずつが、近隣の幼稚園等において、1年間、幼児期の教育に携わり理解を深めることを目的とした、幼児教育長期研修を実施している。

## 【研修内容】

- ①幼児期と児童期の教育課程・指導方法の違いや、子供の発達や学びの現状等を理解する。
- ②コーディネーター役となり、幼児と児童の交流活動及び教員等間の研修の計画を立て、実践につなぐ。
- ③接続期（五歳児後期・一年生入学期）の指導の工夫及び発達や学びをつなぐ教育課程の編成や指導計画の作成を行う。
- ④家庭（保護者）との連携のために必要な関係の構築を図る。

なお、一年間の研修を終えた派遣教員は、翌年、小学校に戻ってからも、引き続き実践的研究を行う。

今年度派遣教員からは、「今、幼稚園の中で感じていること」、昨年度派遣教員からは、「一年間の研修からの学びをスタートカリキュラムにどう生かしたか」についての発表があった。

## 子どもが学びに主体的になるスタートカリキュラムの実践

宇多津町立宇多津小学校 松浦 智紗

## ○アサガオの栽培活動（生活科）

一人一人のアサガオへの思いやかかわりの多様性を生かした学習を展開する。

## ○ひきざん（算数）

体験的な活動を重視し、学びの充実につなげる。

## ○クラス集団づくり（道徳・学級活動）

友達とのかかわりを考えようとする仕掛けを学習（集団遊び）の中に取り入れる。

## ○幼稚園児との交流活動

教師のねらいと子どもの学びのズレをなくす。



## 幼児教育における遊びの中に見えてきた学びの種

高松市立国分寺北部小学校 浅井 由布子

遊びの中にひそんでいる学びを【幼児期の終わりまでに育てほしい姿】の視点で見取る。

## ○「おめでとう」に込められた思い

【数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚】

文字には人に思いなどを伝える役割がある。表記の指導をする前に、友達の誕生日をお祝いしたいという思いを認める。

## ○寝られる船づくり【言葉による伝え合い】

同じ目的をもち、イメージやアイデアを伝え合い、相談しながら活動を楽しむ。

